学校番号	414

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２/４単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究（ 実教出版 ）						
副教材等	４ステージ演習ノート 日本史（ 数研出版 ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究では、これまでの歴史科目で学んできた内容を踏まえて、現代世界のさまざまな諸課題と繋がる、近代以降から現代にいたるまでの歴史について学び、総合的な歴史力を培うため、現代の政治や経済,国際関係などと結びつけながら、日本史探究（２年）・日本史演習（３年）の内容を補足し、より深く歴史を構造的に把握することを目標とします。よって、教科書内容についても重複する部分も扱うが、これまでの歴史科目の中で学んだ内容をより深化させるような、資料読解問題や思考力を問う問題演習等も行いながら学習していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代史を中心に、我が国と世界との歴史的関連を持たせながら、日本史の展開について出来事などの知識を学び、総合的な歴史理解を行い、歴史を現代の出来事や課題と照らし合わせられる技能を獲得し、多面的・多角的な歴史観を身に付けることができるよう考察する。
【思考力、判断力、表現力等】
・我が国と世界の国々との間での歴史的事象を整理し、その中から自ら探求することで歴史的思考力・判断力を養い表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
・知識として得た歴史的事象を論理的に捉えながら、国際社会に生きる日本人としての意識を持つことに加え、歴史の中にある現代へと繋がる課題を自ら表現し、主体的に学び生きる力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現し、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	**第4部近現代の地域・日本と世界**	**第３章 近代国家の形成**	a:大日本帝国憲法の制定，条約改正，日清・日露戦争などを基に，立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。産業革命の展開，交通の整備と産業構造の変容，交通の整備と産業構造の変容，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。欧米の思想・文化の影響，産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c:近代国家形成の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		第４章 **両大戦間の日本**	ａ:第一次世界大戦，社会運動の動向，政党政治などを基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，近代の文化の特色，大衆社会の形成を理解させる。恐慌と国際関係などを基に，第二次世界大戦に至る過程を理解している。 ｂ:アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。地域社会における労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 ｃ:第一次世界大戦とその後の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

2		**第５章** **十五年戦争と日本**	a:軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解している。 b:国際社会やアジア近隣諸国との関係，政治・経済体制の変化，戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c:十五年戦争の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		第６章 **戦後日本の形成**	a:占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興，アジア諸国との関係，高度経済成長，社会・経済・情報の国際化などを基に，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b:第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響，国民生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c:戦後日本の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

3		**第７章** **グローバル化のなかの現代日本**	a:社会・経済・情報の国際化などを基に，政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b:冷戦の影響，グローバル化の進展の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，政治の展開，日本経済の発展，国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現している。 c:現代日本の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度